

■農業支援センターから

## 田舎体験を楽しみました

田舎体験の楽しみを通して食の大切さや農林漁業への理解を深めるとともに地域の活性化を図ろうと、愛南グリーン・ツーリズム推進協議会（濱本恵子会長）の主催により、旧満倉小学校で「愛南グリーン・ツーリズムフェスタ2013」を開催しました。



会場では、文化創作体験とし

て、紙すき体験や竹細工作り、こけ玉作りなどが体験できたほか、食文化体験としてピザ焼きや愛南ワールドの生搾りが体験できるコーナーがあり、子どもたちは目を輝かせながら、田舎体験を満喫していました。

本協議会では毎月、様々な「田舎体験」を実施しています。ぜひご参加ください。



7/28

■商工観光課から

## 本町で株式会社レクザム経営会議が開催 レクザム歓迎会に参加しました

一本松広見地区にある株式会社レクザム愛南工場で、同社幹部社員による「平成25年度第2回経営会議」が開催されました。会議では、岡野桂子取締役会長、岡野晋滋取締役社長、住田博幸取締役副社長を始め、幹部社員73名が参加して同社愛南工場の更なる人員増などの事業



7/19

写真左から 岡野社長、清水町長、岡野会長、住田副社長

活動について検討されました。

会議終了後、青い国ホテル（御荘平城）で、清水雅文町長、山下正敏町議会議長、岡田敏弘副町長も出席した歓迎会が開催されました。その中で、岡野会長、岡野社長、住田副社長に「四国・愛南観光サポーター」の委嘱状を交付し、観光PR用の法被を進呈しました。これを受けて住田副社長が代表してあいさつされ、「今後、愛南工場の事業活動をさらに進展させるよう全力で取り組んでいきます」と力強く話しました。また、歓迎会では愛南漁協による「カツオの解体ショー」や中泊・外泊地区祝唄保存会による「祝唄」も披露されました。

今後とも、株式会社レクザムには、地域雇用の受け皿として、更なる躍進をしていただきたいと思います。

■議事事務局から

### 第3回 町議会臨時会

7/17

本庁議場で開催された平成25年第3回議会臨時会で、消防庁舎建設用地として蓮乗寺地区の民有地(6,638.07㎡)を1億円で取得する議案について審議し、原案のとおり可決しま

した。

※詳しくは、町ホームページをご覧ください。なお、公開には2か月程度かかりますのでご了承ください。

■御荘夢創造館から

### 夢創造館をご利用ください

子どもたちに夏休みの一日を楽しく過ごしてもらおうと、御荘夢創造館で「夏休み子ども集会」を開催しました。館内では

屋敷もあり、参加した約50名の子どもたちは、歓声をあげながら楽しく遊びました。

また、御荘夢創造館では、毎月「おはなし会(絵本や紙芝居)」や「作って遊ぼう」など幼児、子どもを対象にした事業を行っています。幼児用トランポリンや自転車、卓球など各種遊具もたくさんありますので、ぜひお越しください。

開館時間 9時～17時

休館日

火曜日、祝日、年末年始

対象者 0～18歳(高校生まで)とその保護者

問合せ

御荘夢創造館

TEL 721116



■保健福祉課から

### 健康おもしろ川柳入選作品を紹介します

「第4回健康・生きいき・おプラン推進大会」(6月22日、御荘文化センター)の開催に合わせて健康おもしろ川柳を募集したところ、一般182句、小学生328句、中学生351句の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。入選作品は、次のとおりです。



#### ●おプラン大賞

落ちにくい 襟の汚れと 腹の肉

一般 ゆきわりそう

#### ●保健福祉課長賞

ファスナーを 閉めても開く たいこ腹

一般 たぬき

ダイエット あきらめるなよ かあちゃんよ

御荘中学校2年 早川 萌

帰り道 おいでわかる 晩ごはん

福浦小学校6年 川崎優花

#### ●げんきくん賞

メタボ腹 昔の私 今何処(いずこ)

一般 はなこ

やせるには 太る時より 金かかる

御荘中学校2年 菅原優海

なぜだろう 腹は減るのに しぼう増え

久良小学校6年 本多琢馬



## 高速道路「四国8の字ネットワーク」の 早期整備促進要望を行いました

7/ 31

「国道56号一本松・宇和島間整備促進協議会(会長 清水雅文愛南町長)」と「愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会(会長 石橋寛久宇和島市長)」が合同で道路整備促進要望を行いました。

今回の要望は、3名の愛媛県選出国會議員と両協議会会長の清水愛南町長と石橋宇和島市長、役員の山下正敏愛南町議長、三好貞夫宇和島市議長、議長のほか、会員市町長や事務局職員が国土交通省幹部職員などに対し、南海トラフ大地震等災害

時の『命の道』としての高速道路「四国8の字ネットワーク」の早期整備促進(特に、津島岩松く内海間の早期整備、及び内海く宿毛間の早期事業化)について強く要望しました。

今後も愛南町では、暮らしやすいまちづくりのため、継続して道路要望を行っていきます。



石橋市長(写真左側奥)とともに佐藤直良<sup>なおよし</sup>国土交通省事務次官(写真中央)に要望内容を説明する清水町長(写真左側奥2番目)。(写真右側奥から)山本公一<sup>こういち</sup>衆議院議員、山本順三<sup>じゅんぞう</sup>参議院議員、井原巧<sup>たくみ</sup>参議院議員

## 地域経済発展に向け伊予銀行と 連携協定を締結しました

愛南町と株式会社伊予銀行(大塚岩男<sup>いわね</sup>取締役頭取)が、愛南町の経済の活性化を図ることを目的に「地域経済の持続的な発展に向けた連携・協力協定」を締結しました。

役場本庁で行われた締結式では大塚頭取と清水町長が、相互の連携・協力事業など7条から成る協定書に署名しました。大塚頭取は「この協定締結を機に両者の関係をさらに強固なものにし、地域経済の活性化を図りたい。愛南町の皆様といっしょになって地域振興にチャレンジ

します」と話し、清水町長と力強く握手を交わしました。



## ■農業支援センターから 愛南グリーン・ツーリズム「芋ほり体験」の 参加者を募集します



ご家族・ご友人などお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日時 9月21日(土)

午前10時〜(雨天中止)

場所 緑

定員 10名(先着順)

参加費 1人 1,000円

申込み・問合せ

農業支援センター

TEL 72-7311

■総務課から

## 御荘中学生が役場の業務を体験しました

御荘中学校2年生の秋田麗奈さんと吉田彩乃さんが職場体験学習で役場本庁を訪れ、告知端末の放送業務や広報「あいなん」の編集業務などを体験しました。

今回の職場体験で秋田さんと吉田さんが参加した、ぎよしよく普及事業「うみらいくキッチン」での体験を、2人が記事にしましたので紹介します。

## 「うみらいくキッチン」でおいしい料理を作りました

私たちは、うみらいく愛南で行われた「第1回うみらいくキッチン」に参加しました。「うみらいくキッチン」では、山口鮮魚の山口誠さん(山出)に魚のさばき方を教えていただき、「タイのカルパッチョ」と「アジとナスのピリ辛ケチャップ炒め」を作りました。参加した方々と楽しく魚のさばき方を学ぶことができ、良い体験になりました。

ができるようになるので、ご家庭でも気軽に魚料理を食べられるようになると思います。皆さんもぜひ参加して、魚をさばけるようになりましょう。

吉田彩乃・魚をさばくという難しい作業をすることで料理が出来上がったときの達成感はいつもの以上のもになるでしょう。

秋田麗奈…

この料理教室に参加すれば、魚をさばいたことがない人でも上手にさばくこと



秋田さん(写真左)と吉田さん

■商工観光課から

## 愛南町ご当地キャラの名称決定 名前は「なーしくん」

愛南町ご当地キャラクターのネーミング募集に44都道府県から372種類の名前が寄せられ、選考委員会を経て「なーしくん」に決定しました。「名付け親」となったのは、船越小学校6年生の吉田瑠衣さんです。

また、8月19日(月)には、ネーミングの最優秀賞を受賞した吉田さんの表彰式が行われた後、「愛南町商工観光課特別職員」の任命書が「なーしくん」に交付されました。



吉田瑠衣さんとなーしくん

愛南町の方言である「なーし」を名前にしたなーしくんは今後、町内外の様々なイベントに出没しますので、皆様からのご声援・ご支援をよろしく願います。

## 9月納税等のお知らせ

国民健康保険税	4期分/10期分
介護保険料	4期分/10期分
後期高齢者医療保険料	3期分/9期分
保育所保育料	月末
下水道使用料	月末

町税を滞納している方には、まず督促状によって納税を促します。町税を滞納されますと、本来、納めるべき税額のほかに延滞金がかかります。

① 町税等、住宅使用料、住宅共益費、駐車場使用料は、毎月、当月分が月末に振替となります。

② 下水道使用料・簡易水道使用料の振替日は毎月21日、再振替日は翌月の10日です。

※ 該当日が休日の場合は翌日となります。

## 愛南未利用魚図鑑を作成しました

底引き網等で根こそぎ漁獲された魚の約3割が、大きさや見た目、市場価格の問題で廃棄されています。このような魚を未利用魚といい、中には、見た目は悪くても味が良かったため漁業者が好んで食べる魚も含まれていますが、そのほとんどは市場に不出回ることがありません。

これら未利用資源の存在は、地域特有の生態系の保全や生物資源管理を考える上で重要な問題です。そこで私たちは、愛南町で水産学を学ぶ学生として、この問題の解決に貢献すべく、



鎌田翔太さん(前列左、海特コース4回生)、  
矢作由利子さん(前列右、同4回生)、  
伊藤寛治さん(後列、同3回生)、

本書を編集するに至りました。愛南漁協に協力していただき、船越地区と赤水地区の市場で水揚げされる未利用魚を1年間集め、その生態や利用法をまとめました。本書の利用によって、未利用資源の認知度や問題意識の向上を図り、未利用資源を利用可能な資源へと転換することをめざします。

この図鑑は、内泊地区の「うみらいく愛南」の図書室で閲覧可能です。今後は図鑑を町内の施設や小学校などに置いていただき、未利用資源の認知度向上

**スズキ目ワニギス亜目ミシマオコゼ科**  
**キビレミシマ** *Uranoscopus chinensis*

■分布  
・琉球列島を除く南日本  
・水深50m前後の砂泥底

赤水  
底引き網

■生態  
口の中の下顎に1匹の小さい虫のような器官が付いていて、砂に潜っているときはチョロチョロと出し入れし、魚がそれに近づいてくると瞬時に吸い込み丸呑みにする。魚のほかにも甲殻類やイカも捕食する。産卵などについてはあまりわかっていない。

■旬  
秋～冬

■利用法  
大変美味で食用とされる

■未利用の理由と実食の感想  
市場などで流通することは稀で一般に食用として認知されていないので価格にもばらつきがある。新鮮なら刺身でも美味しいが、塩焼きや鍋に入れても美味しく食べられた。

-28-

愛南未利用魚図鑑から

に努めていきたいと思っ

また、本書を編集するに当たり、愛南町の漁業・市場関係者や地域住民の方々とは触れ合う機会が多くありました。こうした方々の協力なしにはこの図鑑の完成はなかったと思います。本書は、水産関係者や愛南町で暮らす私たちの「水産業を活性化させたい」という思いがたくさん詰まった一冊です。この思いが本書をご覧になった皆様に伝わり、未利用魚の問題を考えるきっかけにさせていただければ幸いです。

愛媛大学農学部 海洋生産科学特別コース 一同

## 愛一グランプリの出場者を募集します



様々なジャンルのアスリートの競技力向上をめざし「愛一グランプリ2013」を開催します。ぜひご参加ください。

日時 9月28日(土)

受付 11時45分～12時30分

競技開始 13時

場所

南レク城辺公園多目的広場

種目 60m走、100m走、ソフトボール投げ、キックターゲット、ロングティーパーティンク、一輪車競争、4×100mリレー、モンスターボックス※各種目には、参加資格があります。詳しくは、お問い合わせください。

申込期限 9月19日(木)

参加料 無料

問合せ

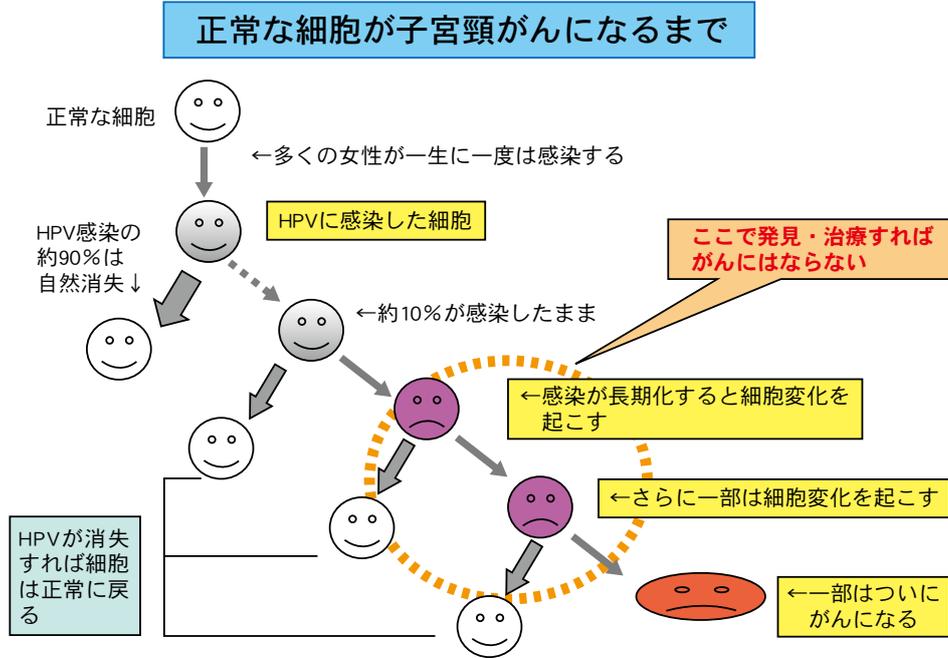
生涯学習課 TEL 73-11112

## 20歳を過ぎたら子宮頸がん検診を受けましょう

国内で毎年約16,000人の女性が新たに患者と診断され、2,500人が命を落とす「子宮頸がん」。最近は特に、20〜30代の若い患者が急増し、

死亡率も高くなっています。しかし、子宮頸がんは、すでに予防可能な病気といわれていることをご存知でしょうか。

子宮頸がんは、ヒト・パピローマウイルス



18年9月愛媛県総合保健協会事業説明会資料より

ローマウイルス(HPV)というウイルス感染が原因で引き起こされることが解明されています。もし、子宮頸部の細胞にHPVが感染しても、自覚症状がないまま多くの人には免疫力で体外に排除されます。ところが、約1割の人はHPVを排除できず、感染が持続してしまふことがあります。すると、子宮頸部の細胞に異常を引き起こし、子宮頸がんへと進行

していく可能性があるのです。

異形成からがんへ進行するまでには、5年から10年かかるといわれていますので、細胞に異型が見られる初期の段階で発見することがとても重要です。定期的に子宮頸がん検診を受けていけば、異形成が子宮頸がんへ進行する前に発見することが可能であり、結果的に子宮頸がんの予防につながります。今年度、まだ子宮頸がん検診を受けていない方は、ぜひ受診しましょう。※20歳を過ぎたら定期的に検診を受けるようにしましょう。

がん検診いつ受けるの？ 今でしょ!! (2013年がん征圧スローガン)

申込み・問合せ

保健福祉課 TEL 72-11212



## 無料クーポン券を利用して子宮頸がん・乳がん検診を受けましょう

愛南町では、がんの早期発見につながるために、一定の年齢の方々に対して子宮頸がん・乳がんの「がん検診無料クーポン券・がん検診手帳」を配付しています。

無料クーポン券がお手元に届いた方はぜひ受診しましょう。 ※無料クーポン券の対象年齢以外の方でも、子宮頸がん検診は20歳以上、乳がん検診は40歳以上であれば無料で受診することができます。子宮頸がん・乳がんの早期発見のため、ぜひ受診しましょう。

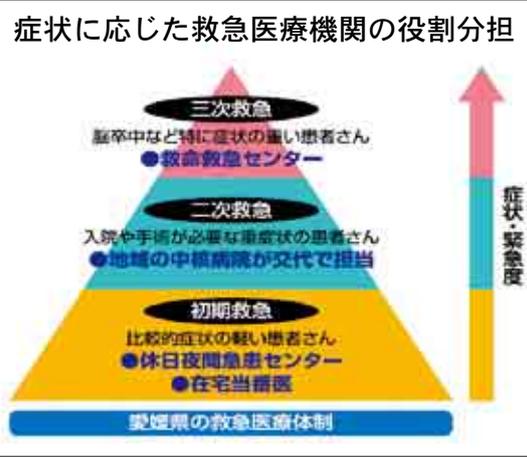
日程等詳しくは、お問い合わせください。

申込み・問合せ

保健福祉課 TEL 72-11212



## 愛媛の救急医療を守りましょう



近年、休日や夜間、救急病院に軽症の患者さんが集中(※)し、医師の負担が増えているほか、安易な救急車の呼び出しで出動回数が増加し、重症患者さんの搬送に支障が出るケースが増加しています。

このままでは、住民の皆様に必要な医療を提供できなくなるおそれがあり、そうならないために『愛媛の救急医療を守る143運動』を実施しています。

これは医療機関や救急車の適切な利用を、住民の皆様一人一人

人に心がけていただく取組ですので、ご協力をお願いいたします。

※愛媛県が調査を実施した平成23年11月の1か月間に、県内救急告示病院で受診した全救急患者のうち、軽症患者の占める割合は78.7%（全救急患者14,415人、軽症患者11,337人）となっています。ただし、平成20年11月と比較すると1.5ポイント減少（全救急患者16,362人、軽症患者13,126人、軽症患者の占める割合80.2%）しています。

### 【普段からの3つの心がけ】

- ①日頃から『かかりつけ医』を持ちましょう。
- ②健康診断や検診等により、病気の予防や早期発見に努めましょう。
- ③家庭で薬を常備しましょう。

### 【受診に当たっての3つの心がけ】

- ①なるべく医療機関の通常の診療時間内に受診しましょう。
- ②救急車で搬送されても、軽症の場合は通常の受付順となる

場合があることに留意しましょう。

- ③休日や夜間で比較的軽微な症状の方、在宅当番医を利用しましょう。

### 【症状は軽いけれど、どうすれば…】

休日や夜間に、どの病院に行けばよいか分からない場合には、えひめ救急医療ネット（インターネット）を参考にされるか、南宇和郡医師会休日当番医案内（TEL72-11234）をご利用ください。

お子さんの急な病気やけがの場合は、小児救急医療電話相談（#8000 電話で#8000 を押すとつながります。）をご利用ください。

問合せ  
保健福祉課 TEL 72-11212

### 心配ごと相談所

無料で民生児童委員2名が日常生活でかかえる心配ごとの相談をお受けします。  
9月14日(土)・25日(水)  
14時～16時  
御荘老人福祉センター

### 福祉法律相談

無料で弁護士と民生児童委員が相談をお受けします。  
※1回の相談人数は8人までで事前予約が必要です。定員に達した場合は受付を終了します。  
9月10日(火) 14時～16時  
御荘老人福祉センター

詳しくは、社会福祉協議会本所（TEL70-1251）までお問い合わせください。

## 防災講演会を開催します

開催します

「災害リスクへの向き合い方」をテーマに防災講演会を開催します。講演会では、同志社大学心理学部の中谷内一也教授が基調講演を行うほか、パネルディスカッションにより、災害に対する不安にどのように向き合うかという問題について皆様を交えて意見交換する予定です。ぜひご参加ください。

日時 9月9日(月)  
18時～20時30分

場所 御荘文化センター 大ホール

問合せ  
防災対策課 TEL 72-0131

■町民課から

## こんなときには届出が必要です

国民年金は、日本に住む20歳以上60歳未満のすべての方が加入しなければなりません。届出は加入するときだけでなく、被保険者の種別が変わったときにも必要です。もし、届出されなかった場合、年金額が少なくなったり、受け取れない場合もありますので必ず届出をしましょう。

### ○20歳になったとき

(厚生年金や共済年金加入者を除く。)

第1号被保険者となりますので、印鑑(本人自署の場合は不要)をご持参の上、住所地の市町村で手続きをしてください。

### ○退職した時

(厚生年金や共済年金加入者の場合)

第2号被保険者から第1号被保険者に異動となりますので、印鑑(本人自署の場合は不要)、年金手帳と退職の日が分かる資料をご持参の上、住所地の市町村で手続きをしてください。

○配偶者に扶養されていたが、配偶者が厚生年金、共済年金を辞めたとき

第3号被保険者から第1号被保険者に異動となりますので、印鑑(本人自署の場合は不要)、年金手帳と配偶者の退職日が分かる資料をご持参の上、住所地の市町村で手続きをしてください。

※納付が困難なときは、一般免除や学生納付特例を申請することができまますので、ご相談ください。

問合せ

宇和島年金事務所

TEL 0895-22-5440

町民課

TEL 72-7300

## 今月の社会保険・

### 年金一日相談

○9月18日(水)

10時～15時30分

(城辺商工会館2階)

■保健福祉課から

## 守りたい大切な命・・・

全国の自殺者は、平成10年以降14年連続して3万人を超えています。

愛媛県では、平成23年に305人の方が自殺で亡くなっています。

### ◆こんなときは要注意

自ら命を絶った人の9割は、何らかの心の病を有していたとの報告があります。

その中で、最も多かったのが「うつ病」です。もしかして：と思ったら、早めに気づき治療することが回復への近道です。かかりつけ医又は心療内科、精神科などの医師や、保健師などに相談しましょう。

### ◆愛南町では「こころの相談窓口」を設置しています

城辺保健福祉センターで毎月2回、精神科医による「こころの健康相談」を予約制で行っています。また、各支所や城辺保健福祉センターでは、保健師が随時相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

### ◆周りの人にできること



私たち一人一人の支えで救えるのちがあります。

問合せ

保健福祉課 TEL 72-1212